



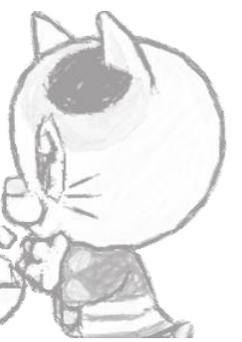
R6,8/23 総合教育会議資料



R7年度以降に向けた 本市の部活動地域移行（案）について



令和6年8月23日現在
門真市教育委員会 



(1) R6 部活動地域移行の取組状況

令和6年8月23日現在

部活動名	地域移行の形態 (○/○現在の指導者の確保○△)	場所	参加校		備考
			モデル校	他校	
軟式野球	野球連盟の指導者による休日の地域移行 (○)	二中	四中	二中	地域活動指導員5名登録済み 7/20より本格開始
バドミントン	バドミントン教室「Y-Bears」コーチによる休日の地域移行 (○)	四中	四中	(二中・五中)	地域活動指導員6名登録済み 7/20より本格開始 2学期より二中・五中も参加予定
サッカー	「はすねクラブ」サッカークラブ指導者による休日の地域移行 (○)	二中・四中	四中	二中	まず部活動指導員として数名登録予定 2学期を目途に指導開始
卓球	クラブチーム「クローバー歯科カスピッツ」コーチによる休日の地域移行 (○)	四中・七中	四中	二中・ 三中・七中	地域活動指導員2名登録済み 7/20より本格開始
ソフトテニス	ソフトテニス連盟の指導者による休日の地域移行 (○)	四中	四中		まず部活動指導員として数名登録予定 2学期を目途に指導開始
男子バスケットボール	「子供のバスケ教室コドバス」指導員による休日の地域移行 (○)	四中	四中		地域活動指導員1名登録済み 7/20より本格開始
女子バスケットボール	「大阪国際大学」指導員による休日の地域移行 (△)	四中	四中		現在調整中
吹奏楽	ルミエールホールを拠点とした休日の地域移行 (○)	ルミエールホール	全中学校		トイボックスへの事業委託 7/6より本格開始

(2) R6の取組の成果と課題

《成果》

- ・ 専門的な指導を受けることができ、生徒の肯定的な感想も多い。
- ・ 生徒の運動、文化活動の機会確保につながっている。
- ・ 教職員の負担軽減につながっている。
- ・ 保護者からも肯定的な感想を聞いている。

《課題》

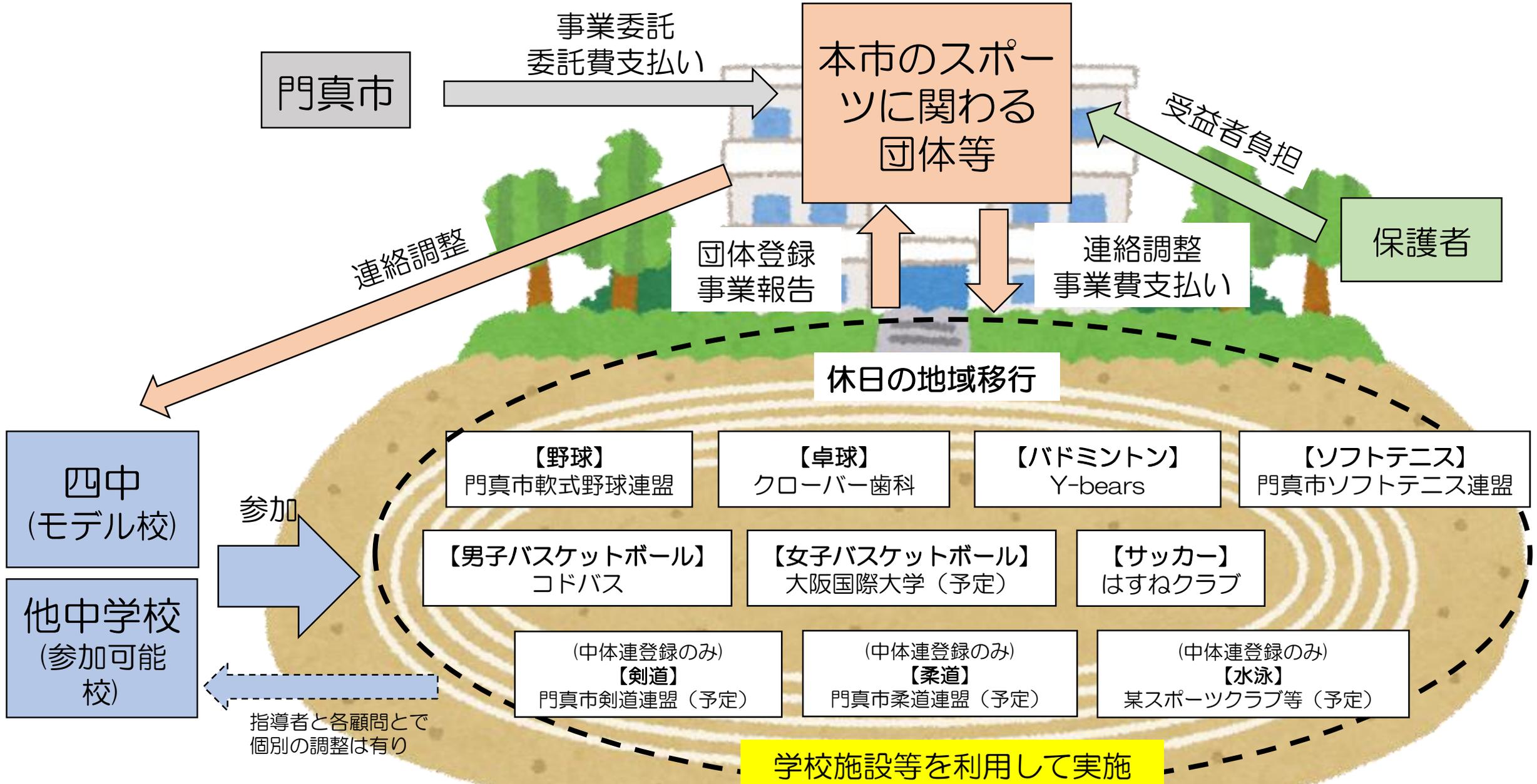
- ①（運動部に関しては）市教委がマネジメントを負うことの限界（運営体制の見直しが不可欠）
- ②指導者への報酬が低いとの意見を多く聞いている
- ③受益者負担に対する保護者の不安
- ④モデル校（第四中）以外の各中学校からも地域移行を要望する声大きい
- ⑤平日の地域移行まで請け負う団体等がなかなか無い
- ⑥現在学校にない部活動競技の中体連登録に係る費用負担

(3) R7以降の今後の方向性

《今後の方向性》

- ①（運動部に関しては）現在の指導員個々との直接契約という形を廃止し、団体へ委託契約するという形で実施する。また競技毎の各団体とそれぞれ委託契約をするのではなく、本市の地域移行をマネジメントする一つの団体と委託契約する。
- ②市独自予算だけではなく、今後マネジメントする団体とともに、企業協賛金やふるさと納税の活用等も含めた歳入方法について検討していく。
- ③受益者負担の割合については今後部活動検討委員会を中心に検討していく。
- ④実施可能な競技はモデル校以外の中学校も参加する形で引き続き実施していく。
- ⑤平日の地域移行は、モデル校を中心に、活動日を考慮しながら実施可能な部活動から徐々に開始する。
- ⑥現在学校にない競技についても、代表となる一つの団体に取りまとめを依頼し、中体連登録費を補助する。

(4) R7 運動部活動地域移行の運営体制 (案)



(5) R7 文化部活動地域移行の運営体制 (案)

